

技能・形態・時間	話す(やり取り) クラス全体(歩き回り) 5分
この帯のねらい	質問→答えたら、答えた人が次の相手を見つけて同じ質問——インタビューが数珠つなぎに教室を回る。「聞かれたら聞き返す・答えたら次へ」の会話の作法を体で覚える帯。

やり方

毎回この流れ(先生の英語の合図で始まる)

1

Today’s question: “What did you eat for dinner?”
今日の質問を全員で確認(板書)

2

Teacher asks the first student.
先生が最初の1人に質問→その生徒が答える

3

Now you ask someone new. Chain it!
答えた人が立って、まだ聞かれていない人に同じ質問→どんどん連鎖

4

Everyone asked? Sit down. Time check!
全員が聞かれたら終了。クラスの連鎖タイムを記録

ルール

・答えは文で(Curry. でなく I ate curry.)

・答えたら How about you? と聞き返してもよい(上級)

・まだの人が見つからないときは Anyone left? と英語で叫ぶ

きろく

やるたびに記録しよう(のびていく自分が見える)

回	日付	クラスの連鎖タイム	ひとこと(できたこと・次の目標)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

☆レベルアップ！ 質問を今週の文法に(過去形: What did you ~?／現在完了: Have you ever ~?)。「タイム短縮」をクラス目標にすると、日ごとに機敏になる——遅くなった日は質問が難しかった証拠で、それも学習情報。

先生へ(この帯活動の運用)

クラス全員が必ず1回質問し1回答える構造を、チェーン(連鎖)で作る帯。列リレー(クエスチョン・リレー)が座席固定なのに対し、こちらは歩き回り＝相手を選ぶ小さな社交が入る。連鎖タイムのクラス記録が「全員でひとつの記録に挑む」一体感を作る。質問は1日1つに絞るのがテンポの秘訣。